



後期がはじまりました！

本日より、後期が始まりました。日中は暑さが厳しい日もありますが、朝夕はずいぶん過ごしやすくなりました。皆さん体調にはくれぐれもご注意ください。熱中症指数が「危険」を指すこともなくなり、子どもたちは元気に運動場で遊んでいます。ですが、子どもたちは大変汗かきですので、水分は必ず持たせてあげてください。

さて、「秋」といえば「スポーツの秋」「勉強の秋」「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」・・・生活面でも学習面でも何をするにもよい季節です。子どもたちとともに元気に頑張っていきたいと思います。これからも学校の教育活動にご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。

令和 8 年度学力学習状況調査より

全国学力学習状況調査



「教科に関する調査」（国語・算数・理科）と「学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査」（児童質問紙）があります。

全国平均から見た今年の傾向について(成果○ 課題●)



<教科に関する調査結果から>

国語では

○本校は、全国及び三重県の平均正答率より少し低いという結果でした。（13問中平均正答数 7.5、全国 7.9）

○学習指導要領の内容別にみると「知識・技能」の「言葉に関する事項」が県・全国の平均より高い正答率を示しました。また、問題形式では、短答式の正答率が高いという結果でした。

○基本的に粘り強く問題に取り組む姿勢が見られます。

●一方で、「書くこと」と「読むこと」については苦手であるという結果が出ています。

●記述式・選択式の回答に弱さが見られます。無回答（空欄のまま）は記述式に見られますが、時間的に不足していたと思われます。

算数では

○本校は、全国及び三重県の平均正答率より高いという結果でした。（16問中平均正答 10.3、全国 9.0）

○学習指導要領の領域別に正答率をみると「測定」が最も高く、どの領域も平均を上回っていました。

○無回答率（空欄のまま）は低く、粘り強く問題に取り組む姿勢が見られます。

●県や全国の平均は上回っていますが、「データの活用」「変化と関係」の領域の一部は低いです。二次元の表の読み取りや単位当たりの量を求めること、分数の基本的な思考などで苦手な様子がうかがえます。

・生活に即した文章問題を読み解き、立式することに課題があります、

・問題文が複雑になると正解を導き出すことが苦手な児童が多いです。逆に単純な文章を複雑にとらえて、本来ならば計算しなくても求められる文章を読み取れていないことがあります。

<児童質問紙調査の結果から>（そう思う・どちらかといえばそう思う の肯定的な意見）

学校生活・授業について

- 「学校に行くのは楽しい 91.7%」「先生はあなたのよいところを認めてくれている 100%」「先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている 100%」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか 100%」「友達関係に満足していますか 100%」「学級の友達との間で話し合うことを通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている 100%」と感じている子の割合が高いです。
- 「国語の勉強は好き 91.6%」「算数の勉強は好き 75%」が前回より肯定的な評価になっており、それぞれの勉強への意欲付けや好きになるような手立て、内容を工夫することの取り組みが実を結んだと思われます。
- タブレットを使つてのインターネットでの情報収集（91.7%）や、データを使つてのプレゼンテーション（75%）にも自信がうかがえる結果となりました。
- 国語の重要性をよく理解し、文章を書くのもまとめるのも大切だと認識はしていますが、活字を読む経験が非常に少ない現状となっています。活字を読むということは文章の読み取りにも活かせる作業です。「学校図書館で本を借りる頻度 月3～4回 41.7%」が最高で、年に数回・全くいかないという回答が他を占めています。読書の推進をさらに進める取り組みが必要です。

家庭生活について

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている 100%」の割合が高いです。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日に30分以上タブレットなどのICT機器を勉強のために使っている 75%」の項目が、年々高くなってきています。タブレットを使つての学習が定着しつつあると思われます。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日に1時間以上勉強をしている 41.7%、30分以上1時間以内 58%」、「土曜日や日曜日などの学校が休みの日に1日に1時間以上勉強をしている 8.3%」自主的な学習の時間が短い傾向にあります。

自分自身のことについて

- 「自分にはよいところがある 100%」の項目の割合が高く、自尊感情の高まりが見られます。「人が困っているときは進んで助けている 100%」「人の役に立つ人間になりたい 100%」など、社会に貢献する意識も高いといえます。

課題の解決に向けて



今回の学力学習調査では算数は平均を上回ることができましたが、国語はわずかに及びませんでした。算数はすべての領域について平均を上回ることができたましたが、これは計算などの基礎学力のベースになる部分についてしっかり力をつけた結果といえます。しかし一方で、国語・算数共に問題文が長く、より深く考える必要がある問いに対して、まだまだ苦手である傾向がみられました。については以下のように取り組んでまいります。

◎子どもたちが文章を読み解き、内容について理解し、文章や会話で説明する機会の増加

- ・初見の文章に触れて読み解く練習
- ・教科書や「まなぼと」を使つた「読み」から「書き」につながる取り組み
- ・読書活動の充実

◎基礎学力の定着

- ・過去の学調やみえスタディチェックの問題、まな Viva！などの利用や、タブレットでの個別学習等の取り組み
- ・学校全体としての言語活動の充実・国語の研修を生かした授業実践

◎家庭学習の充実

- ・家庭読書の取り組みへのよびかけと「早寝早起き朝ごはん」の推進
- ・「10分×学年+10分」を目標にタブレットの利用や読書を含めた家庭学習の推進



※お知らせ ※松阪市立柿野小学校のホームページを公開しています。

HPアドレスです。 <https://kakino.iinan-matsusaka.com/>

「松阪市立柿野小学校」で検索してください。

左のQRコードを読み取っていただくと直接HPに飛びます。